

令和4年度及び5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会会議録

日時 令和5年4月20日（木）14：00～16：00

場所 長岡京市中央公民館市民ホール

出席者 全体会委員 34名

乙訓障がい者基幹相談支援センター・キャンパス・アンサンブル・向日市社協障がい者地域生活支援センター・こらぼねっと京都・アイリス・乙訓ポニーの学校・乙訓障害者支援事業所連絡協議会・乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会・向日市社協ホームヘルプセンター・きりしま苑・乙訓若竹苑・晨光苑・乙訓福祉会・乙訓医師会・京都府乙訓歯科医師会・京都済生会病院・乙訓訪問看護ステーション連絡会・京都府立向日が丘支援学校・京都府乙訓教育局・京都七条公共職業安定所・乙訓青年会議所・乙訓やよい会・乙訓の障害者福祉を進める連絡会・乙訓保健所福祉課・乙訓福祉施設事務組合・向日市市民サービス部(4)・長岡京市健康福祉部(2)・大山崎町健康福祉部(2)

欠席者 8名

乙訓ひまわり園地域連携室・大山崎町社会福祉協議会・乙訓若竹苑・京都府歯科衛生士会・西山病院・長岡病院・長岡京市商工会・京都府身体障害者団体連合会乙訓ブロック

運営委員 6名

事務局 5名

傍聴者 1名

配布資料

- ・次第
- ・令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会報告書（案）
- ・令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会事業計画（案）
- ・別添資料

議事の流れ

令和4年度全体会

開会

事務局 ・ただ今より、令和4年度及び令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を開催させていただきます。本日は両年度全体会の同時開催のため、それぞれの委員の皆さまに出席いただいている。

向日市、長岡京市、大山崎町、各部長紹介

会長挨拶 能勢 泰人 長岡京市健康福祉部長

- ・乙訓圏域障がい者自立支援協議会の運営要綱により、令和4年度は長岡京市が会長をさせていただいた。会議を進行させていただく。
- ・乙訓圏域での障がい者福祉行政の推進に理解、協力をいただき厚く御礼申し上げます。また本協議会に積極的に参加いただき、支援いただいていることも併せて御礼申し上げます。
- ・平成19年度に乙訓2市1町が共同で設置した本協議会も今年で16年目を迎えた。この間、障がい者福祉に関する情報の共有、地域生活の課題解決のために実績を積み重ねられてきたことは皆の努力の賜物だと考えている。
- ・平成18年に障害者自立支援法、平成25年に障害者総合支援法が施行され、障がい福祉に係る状況は大きく変化してきた。向日が丘支援学校の改築にあわせ、「向日が丘共生型地域づくり構想」についても事業者の選定が終わり、今後とも乙訓の障がい福祉を取り巻く環境は大きく変化してくるものと考えている。協議会の活動については行政も協議会の一員として共に考えながら障がい福祉の向上に努めていきたいと考えている。今後ともよろしくお願ひしたい。

協議事項 令和4年度 事業報告(案)について

1 運営報告 山田 洋平 相談支援専門職員

※令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 運営報告(案)を説明

2 「医療的ケア」委員会 委員会報告 池田 広記 委員長

※令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 「医療的ケア」委員会 活動報告(案)を説明

3 人材確保・育成部会 部会報告 森井 詳太 部会長

※令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 人材確保・育成部会 活動報告(案)を説明

4 就労支援部会 部会報告 上田 佳子 部会長

※令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 就労支援部会 活動報告(案)を説明

5 プロジェクト報告

(1) 相談支援プロジェクト 報告 山田 洋平 相談支援専門職員

※令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 相談支援プロジェクト 活動報告(案)を説明

(2) 喀痰吸引等研修プロジェクト 報告 三宅 州人 代表

※令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 喀痰吸引等研修プロジェクト 活動報告(案)を説明

(3) 精神障がい者地域生活支援プロジェクト 報告 石田 早苗 副代表

※令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 精神障がい者地域生活支援プロジェクト
活動報告（案）を説明

（4）児童発達支援プロジェクト 報告 伊藤 美恵 代表

※令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 児童発達支援プロジェクト 活動報告（案）を
説明

会長 ・協議事項については全ての報告が終わった。全体を通して、質問や意見はあるだろうか。
なければ、令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会報告書を向日市、長岡京市、大山崎町
並びに京都府に提出して良いだろうか。

※一同拍手

会長 ・賛同いただいたので、令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会の報告書は各市町等に提
出させていただく。
・以上をもって令和4年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を終了させていただく。

令和5年度全体会

事務局 ・令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を開催させていただく。
・この協議会は乙訓二市一町で共同設置されたものであり、乙訓圏域障がい者自立支援協議会
運営要綱に基づき、会長職には二市一町の障がい福祉担当部長がその職務を行うと定められて
いる。令和5年度においては向日市市民サービス部長にその職に就いていただくこととなる。
会長から挨拶をお願いしたい。

会長挨拶 山田 栄次 向日市市民サービス部長

・乙訓圏域障がい者自立支援協議会の運営要綱により令和5年度は向日市が会長を努めさせていただく。
・乙訓圏域での障がい者福祉行政の推進に理解と協力をいただき、本協議会の活動に積極的に参加、支
援をいただいていることに心より御礼申し上げます。昨年度に引き続き、よろしく願い申し上げます。

自己紹介

協議事項 令和5年度 事業計画（案）について 山田 洋平 相談支援専門職員

1 専門委員会及び専門部会の設置について

（1）「医療的ケア」委員会

・「医療的ケア」が日常的に必要な人の短期入所について、圏域内でモデルケースが実施された。
今後は医療型短期入所の見学会等を実施し、周知を図っていく予定である。
・個別のケースについて、事業所、行政、当事者等様々な立場から課題解決に向けた検討を行い、一般

の人や福祉事業者を対象に、医療的ケア児・者の実際を知ってもらうための周知活動を、二市一町の社協祭で実施したいと考えている。

(2) 人材確保・育成部会

- ・福祉現場では人材不足が大きな課題となっている。これらの軽減・解消に向けて今年度も乙訓の障がい福祉事業所が一体となって作成したチラシを更新し、見学や体験につながるよう近隣大学等への配布を行っていく。近隣大学等への就職ガイダンスも広げていければと考えている。加えて、令和5年度も就職フェアに出展していきたいと考えている。
- ・圏域内法人による人材育成について、2回目の交流会の実施に向けて協議していきたいと考えている。

(3) 就労支援部会

- ・障がい者雇用促進のため、公的機関、企業での実習受け入れ先の拡大について協議を進め、庁内実習の充実に向けた具体的な協議、実践を行う。
- ・企業就労に向けての啓発や、精神障がい者を含む全ての障がい者雇用促進に向けて協議していく。

2 プロジェクトの設置について

(1) 相談支援プロジェクト

- ・令和4年度は圏域の相談支援体制充実のために、課題である基幹相談支援センターの役割について協議をした。この結果を踏まえて、基幹を中心において圏域の課題抽出とその解決に向けて協議を進めていく予定である。

(2) 喀痰吸引等研修プロジェクト

- ・「医療的ケア」に関わる介護職員認定研修事業の実施団体である（福）乙訓福祉会と共に準備を進め、開催する予定である。

(3) 精神障がい者地域生活支援プロジェクト

- ・昨年度の学習会を基に乙訓で求められる「居場所」の具体的な設置に向けて、協議を進めていく。

(4) 児童発達支援プロジェクト

- ・児童発達支援へのニーズの高まりに対し、放課後等デイサービスをはじめとする事業所が増加している。聞き取り調査で作成した事業所の基本情報をもとに圏域の状況を共有し、今後厚労省から示されるガイドラインに沿って、子どもたちやその家族にとって必要な療育について協議を行っていく。

3 各種団体・機関の研修会等を支援する

- ・資料、一番最後の図にある自立支援協議会のくぐりの右側にある「しょうがい者就業・生活支援センターアイリス」や「相談支援事業所連絡会」、「発達障害者圏域支援ネットワーク（乙訓ひまわり園）」、障がい者の就労について共に考えていこうという趣旨で発足した乙訓の中小企業家同友会と福祉事業所との「就労支援ネットワーク「たけのこ」、その下の「乙訓圏域障害者支援事業所連絡協議会」、「特別

支援連携協議会」、昨年度立ちあがった「絆サークル」など様々な団体と連携して、それぞれの事業の取組について協力していきたいと考えている。

4 ネットワークを構築する

協議会のホームページを充実する

・全体会や部会、委員会の内容について掲載している。令和4年度よりプロジェクトについても進行状況を簡単に掲載してきた。研修会を始め、様々な活動の内容についても掲載している。協議会での情報を積極的に出し、今後とも多くの方に見ていただきたい。

情報の相互提供の推進を図る

・資料、最後のページの様々な団体と一緒に連携協力関係を進めていく。
様々な機会を通し、お互いが持っている情報を交換しながら進めていければと考えている。

他のネットワークとの連携を図る

・他圏域や府や府外の関係団体等と連携しながら、新たな社会資源の視察や研修の講師をお願いする等、連携を深めていきたいと考えている。

5 その他 目的達成のために必要なことを行う

・向日が丘支援学校卒業生の進路先に関わって、生活介護支援事業所の受入が困難な状況については運営委員会で取り上げ、現状を把握し、協議をしていく予定である。
・向日が丘支援学校は建て替えに伴い、今年度の夏には旧済生会京都府病院へ仮移転される予定である。この移転に関わって、学校長からこの後説明をしていただく。今後、仮移転に伴う様々な予想される課題については支援学校と連携し、取り組んでいきたいと考えている。
・今後、地域生活支援拠点としての機能を兼ね備えた福祉施設が乙訓で設置される。この中身については実施法人をはじめ、行政からも協議会へ情報提供をお願いしたいと考えている。

会長 ・協議事項についての協議に入る。質問や意見があればお願いしたい。

委員 ・令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の中で、医療、福祉、療育、教育、就労雇用等この場におられる関係機関には必要な支援に取り組んでいただき御礼申し上げる。
・この協議会でも様々な地域課題に取り組んでいただき、解決に向けて進めていただいていることを大変ありがたく思っている。
・令和4年度にはそれまでなかったプロジェクトの進行記録をホームページにアップしていただき、協議されている内容がわかるようになった。
・長岡京市共生型福祉施設について運営委員会で情報共有していただいただけだと当事者、家族会にその情報が伝わらないことがある。家族会にも情報を伝えていただき、当事者も含めてニーズを反映していただけるようにしてもらいたいと思っている。「医療的ケア」委員会の報告にもあったが、短期入所が2床では少ないのではないかと、「医療的ケア」の人が利用できるようなものにしてほしい等についても家族会にも意見を聞いていただけるような機会を作っていた

けたらと思っている。

・旧乙訓ポニーの学校跡地で建設整備を計画している件について、生活介護事業や共同生活援助事業、短期入所事業においては重度心身障がい児者の受入を想定してもらいたいことを昨年度の全体会で申し上げた。乙訓福祉施設事務組合の事務局から法人に伝えていただくことになっていた。そのことについて何かわかることがあれば話を聞かせていただきたい。

・基幹相談支援センターは大変重要な位置にある。その体制が昨年度はプラス1の体制でやっていくという説明を受けた。今年度はどんな体制なのか、聞かせていただきたい。

事務局 ・共生型の話が見えてこない、次の段階に行けないかと思う。意見も出にくいかと思っている。わかり次第、情報の提供、開示というところでもお願いしたいと思っている。

委員 ・旧乙訓ポニーの学校跡地の情報についてはホームページで出している。昨年6月に説明会をされた時の議事録の内容と補助金申請までされたということである。昨年お伺いした意見については法人に伝えている。こちらとしては引き続き法人の支援をしていきたいと思っている。

・今年度の相談支援課の体制については昨年度強化させていただくという中で、様々な意見をいただき協議いただいたことに感謝申し上げる。引き続き、体制を整えていくつもりであったが予期せぬ出来事等があり十分な体制にはなっていない。そういった状態が解消できるように努力している途中である。どうか理解を賜りたく、よろしくお願ひしたい。

委員 ・本校の改築、移転について情報提供をさせていただく。資料「2023 仮移転 GUIDE」を見ていただきたい。児童生徒が思い思いに作成したピクセルアートでアレンジをしている。

今年度、今の校舎から仮設の校舎となる旧済生会京都府病院へ移るという児童生徒にとっては教育環境が一年の中で大きく変化をするということで大変不安もあるが、保護者にも見通しを持ってもらい、期待を持っていただくという意味合いを込め作成した。

・本校は57年目で府立の特別支援学校の中でも盲学校、聾学校に続いて非常に古い歴史ある学校である。そのため校舎の老朽化が著しく改築することになった。支援学校の改築は京都府としては初めての大事業である。何よりも児童生徒の安全を担保しながら改築事業を進めることを考えている。そのひとつとして旧済生会京都府病院の施設を府教委が学校施設としての安全な教育環境となるように改修を行っている。

・令和5年度2学期から仮設校舎の利用を開始する。同時に既存の校舎の解体工事、埋蔵文化財の調査に入る。これが5年、6年と続く。令和7年度から8年度にかけて新校舎の改築、建設業務が進んでいく。そして令和9年度の夏期休業中に仮設校舎から新校舎に移転する。新校舎については長岡京市の共生福祉構想と一体的に整備がされている。大きな期待をしている。今年度は特に仮設校舎に移転する大きな年度だと思っている。

・令和4年から5年度の間組計画だが、引越は児童生徒にとっては大切な教育の機会だと思っている。説明動画を作ったり、今の校舎の写真を撮ったりしている。この1学期は「校舎の思い出プロジェクト」を実施する。校舎の壁面に児童生徒が思い思いに感謝の気持ちを絵として描き記したりする。それを写真に撮り、校舎への感謝の気持ちを形として残すというプロジェクトを行っていく。

・今年度は早めに1学期を終えることになる。夏期休業中に引越業務を行っていく。1学期の終業式が7月14日（金）になる。お盆までの前半期は旧校舎からの物品の運び出しを中心とし

た作業となる。お盆を挟んで下半期には新しい仮設校舎の整備を行っていく。2学期の開始も少し遅れて、9月5日（火）となる。最終週のところでは、児童生徒にとっては通学路等全て変わってくるので、通学の練習や保護者向けに内覧会の実施、防災訓練等、安心安全の上で2学期を実施するための様々な準備を進めていきたいと思っている。

- ・今年度限定ではあるが休業期間が従来よりも若干長くなるため、迷惑をかけることになる。理解を賜ればありがたいと思っている。

- ・仮設校舎は6階建てとなる。この辺りも児童生徒が慣れていくには十分時間もかかるかと思っている。無理なく進めていきたいと考えている。

- ・フロアは小学部が3階、中学部が4階、高等部が5階となり、児童生徒がわかりやすいような設備として現在改修中である。これに伴い、この4月から下校時刻が従来より若干遅く設定をしている。迎えに来ていただく放課後等デイサービスの方々にも協力をいただいている。引き続き、よろしく願いたい。

- ・スクールバスのコースも変わってくる。案の段階だが、保護者にも準備をしていただいている。

- ・プール、グラウンドといったものがない。長岡京市の協力を得て、西山体育館を使用させていただく。下の池の埋め立て地はグラウンドとして使用させていただく。地域に学びの場を求めるといったような新しいコンセプトで展開をしているところである。

- ・駐車場が東側、西側とある。左手がスクールバスの発着場と考えている。放課後等デイサービスの車や、子どもたちの動線、安心安全な受け渡しの方法については現在まだ検討中である。乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会と連携しながらその辺りのフレームを作って、できるだけ早くに教えていきたいと考えている。まだ現在不透明なところも多々あるのだが、この様な形で今取組を進めているところである。

会長 ・全体を通して質問や意見はあるだろうか。

- ・意見がないようであれば、令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会の事業はこの計画に従って進めていきたいと思う。それでは令和5年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を終了させていただく。長時間にわたり会議への協力ありがとうございました。

閉会